



がん看護専門看護師コース 2021年 がん看護学合同セミナー I “がん患者におけるリンパ浮腫の病態生理と 症状マネジメントの実際”

 須網 博夫 Associate professor, MD, PhD
Macquarie University Faculty Medicine, Health & Human Sciences, Sydney, Australia

 Louise Koelmeyer ALERT Director, BAppSc(OT), PhD
Macquarie University Faculty Medicine, Health & Human Sciences, Sydney, Australia

 井沢 知子 がん看護専門看護師
京都大学大学院医学系研究科

 高西 裕子 看護師
徳島大学大学院保健科学教育部・リムズ徳島クリニック

事前参加
申し込み要
締切：8月10日

WEB
開催

日時：2021年8月29日(日)
9:30 ~ 17:00

事前申込者に後日ZOOMのIDとパスワードをご連絡致します
下記の連絡先のメールにお申込みください



見ることのできなかつたリンパ管が見えるようになり、今までのリンパ浮腫の病態生理が覆されてきました。リンパ節を取ったら何が起こるのか、新たな知見を学びませんか？
きっとリンパ浮腫へのケアが変わります！

専門的に勉強したことがなくても大丈夫、関心や興味がある方はぜひご参加ください。

参加申し込み先

主催：徳島大学大学院医歯薬学研究部

今井芳枝

〒770-8503

徳島市蔵本町三丁目18-15
Tel & FAX 088-633-9038

①氏名 ②所属 ③職種
をご記載の上、✉でお申込ください
lymphedema2021@gmail.com

■ 講師紹介

須網 博夫 先生

2001年メルボルン大学にてリンパ解剖学の研究を開始され、2009年M D アンダーソンがんセンターの形成外科助教及びマイクロサージェリー研究センターのディレクターとして勤務。2015年マッコーリー大学医学・健康科学部に勤務され、ICG蛍光リンパ管造影によるリンパ浮腫の診断やリンパ系の解剖に関する数多くの研究をご発表されています。また、Australian Lymphatic Education, Research and Treatment (ALERT)と協力しリンパ浮腫セラピスト教育にも携われ、科学的根拠に基づいた治療やケアの普及など多岐にわたってご活躍されています。

Louise Koelmeyer 先生

乳がんリハビリテーションやリンパ浮腫の評価、早期発見、教育、治療などリンパ浮腫管理を専門とされ、30年以上、OT、リンパ浮腫セラピストとしてご勤務。現在は、マッコーリー大学のオーストラリアリンパ浮腫教育研究・治療(ALERT)プログラムのディレクターとして、リンパ浮腫セラピストの教育、臨床プログラムの管理と研究にも携わっておられます。マッコーリー大学で博士号を取得され、リンパ浮腫の研究者、教育者としてもご活躍されています。

井沢 知子 先生

兵庫県立看護大学大学院修士課程をご卒業後、兵庫県立がんセンターを経て京都大学医学部附属病院看護師として勤務され、2005年がん看護専門看護師の資格を取得されています。現在は京都大学大学院医学研究科に所属しながらダブルアポイント教員として、京大病院でがん看護専門看護師の実践をしながらリンパ浮腫外来でリンパ浮腫患者さんのセルフケア支援を中心にご活躍されています。

■ 内容

がん患者におけるリンパ浮腫に対する症状マネージメントの実際のお話をして頂く予定です。

高西 裕子 先生

兵庫県立尼崎病院、静岡県立静岡がんセンターを経て、2007年よりリムズ徳島クリニックにてリンパ浮腫セラピストとして勤務され、リンパ浮腫の保存療法とセルフケア支援を専門とされています。2021年徳島大学大学院保健科学教育部博士前期課程修了。

■ 内容

リンパ浮腫の複合的治療や保険医療制度の現状についてお話ししていただきます。